

ふれあい新聞

ファミリーサポートセンター(ファミサポ)は、子育ての「援助が必要な方」と「援助を行いたい方」を結ぶ会員組織です。



楽しい夏休みを!

依頼会員 Sさんは転勤族。小学校1年生と、もうすぐ3歳になる二人の男の子のお母さんです。

お兄ちゃんのH君はスポーツが大好き! 1年生ながらも、バスケットクラブに入っていて、夏休みも返上してバスケの練習に汗を流す元気な男の子です。

今日は、夫婦ともに残業で、帰りの時間が遅くなるため、近所の提供会員KさんにH君の『クラブ活動後のお迎えとその後のお預かり』をお願いしました。Kさんには、いつも弟君がお世話になっているけど、H君にとっては、はじめてのお留守番。ちょっと緊張ぎみながらも、Kさんと手をつないで帰ります。学校の授業では、算数が好きだというH君。勉強もバスケも頑張っていて、楽しい夏休みを過ごしてね!

子ども一人一人の特性に応じた支援

～発達障がい等のある子の理解と特性～

6/6 (水)

提供会員と両方会員を対象に平成30年度八戸市ファミリーサポートセンターの第1回目のステップアップ研修会を行いました。

今回講師にお招きしたのは、青森県教育委員会 校内支援アドバイザー 千葉隆史先生です。千葉先生は青森県立八戸第二養護学校校長として務めた経験を基に、デーリー東北新聞に特別支援教育について2年ほど連載していたこともあり、ぜひ千葉先生のお話を聞いてみたい！と思われた方が多く参加してくださいました。

発達障がいのある子に接する際は、子育てをめぐる社会環境の変化も考慮し、こども一人一人の特徴を理解しようとする意識が大切であることをお話してくださいました。

海外では移民が多いことから、国が違う子・障がいのある子も一緒に同じ場所で学ぶことが当たり前なのだとか。インクルーシブ教育というそうですが、日本でも、多様で柔軟な教育システムが求められているとのことでした。



《参加者アンケートより》

- 孫が団体行動がうまくできずに発達障がいではないかといわれて、自閉症スペクトラムと断定されました。遠くで暮らしているのに、いろいろ苦労しているのだろうと推測しています。
- 「気になる子ども」が多くなってきていると聞いて、受講させていただきました。
- 親の思い・話を聞いてあげることが大切だなと思いました。

平成30年度 第1回 提供会員養成講習会

ファミリーサポートセンターでは、子どもを預かってくださるボランティア（提供会員）のための養成講習会を年2回、7月と11月に開催しています。

今年度も、第1回提供会員養成講習会を7/24、25、27、30日の4日間にわたって開催し、7名の方（うち南部町1名 三戸町1名）が参加してくださいました。講習会に参加して下さった皆様の、これからの活躍を期待いたします。



お友達や知人に「提供会員」に興味がある方がいらっしゃいませんか？いらっしゃいましたら、ぜひ、センターまでご紹介ください。次回の講習会は、11月頃の予定です。

メッセージ紹介 ～依頼会員さんからのメールより～

依頼会員 M様より

無事、昨日で3週間の実習を終えることができました。ファミサポがなければ実習を行うことができなかったのも、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

Yさんには、ほぼ毎日お世話になりました。子供たちはとても懐いていて楽しかったと言っています。本当によくして頂き、YさんとMさんには、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

まだ先ではありますが、今度、別の実習で2日間と5日間行かなければ資格を取得できないので、その際にまたお願いをすることになるかと思っております。またこれからもよろしくお願い致します。本当にありがとうございました。

依頼会員 F様より

今日はサポート依頼の初日でしたが、お迎え時には娘がとても楽しそうに遊んでいて私も嬉しかった日でした！

また機会を見つけて依頼させていただきたいと思っております。ありがとうございました(^^)

依頼会員さんにインタビュー



ファミサポ登録はしているけど、利用するのはちょっとドキドキ！という方は多いと思います。そこで、依頼会員として実際に利用している先輩ママさんにインタビューしてみました。

①ファミサポ登録のきっかけ

長女がまだ保育園児の時に、祝日仕事が休めない仕事に加えて実家の母も頼れず、子供の預け先がなくて困り登録しました。一度利用し、その後は何とか休みをやりくり出来たためしばらく利用していませんでしたが、長女が小学生になった際、学童保育の時間内に自分が迎えに行けない事が分かり利用を再開する事にしました。

②こんな時に利用しています

現在、4年生と1年生の姉妹で利用させてもらっています。土曜日と長期休みの時に、部活動と学童保育前の預かりとか、部活動と学童保育後の預かり(1時間から2時間程度)をお願いしています。姉妹で提供会員さん宅へ行っているので安心です。

③ファミサポ利用してみたの感想

利用する時には、子供が嫌がるのではないかと、身内でもない方に預けるのはどうなのか？と、私もかなり悩みましたが、他の選択肢がなかったこともあり、利用するしかない状況でした。

実際の利用前には、提供会員さんとファミリーサポートセンターの方と3者で打ち合わせがあり、不安なことやお願いしたい事等お話しする機会があったのが、とても良かったです。利用再開し間もない頃は、提供会員さんが、子どもが留守番している間、どのように過ごしていたかを細かく教えてくれたのも嬉しかったです。

④ファミサポ利用を考えている方にひとこと

現在、サポート活動を依頼している提供会員さんは、お孫さんの面倒も見ている方で、子供への接し方も上手で、長女も次女も嫌がることなく私の心配をよそにすぐに慣れ、提供会員さんのお宅に行く日を楽しみにしているようです。

家に、子供達だけで過ごしていると防犯の面や火の元など心配ですが、心配ごともなく仕事に集中できるので、本当に助かっています。これからもファミリーサポートセンターの力を借りながら、子育てや仕事を頑張っていきたいです。

(依頼会員Kさん。会員登録歴約8年。長女の小学校入学を機に3年前より定期的に利用)

①ファミサポ登録のきっかけ

夫婦ともに県外出身で、身近に頼れる人がいないことから登録・利用を考えました。また、子供にとっても近くに祖父母のような存在の人がいると良いのでは、とも日頃から考えていました。

②こんな時に利用しています

保育園に入園するまでは、出張が多い夫の不在期間に、子育ての息抜きの時間を持つためにも、ほぼ毎月サポートをお願いしていました。入園後のサポートも見据え定期的に依頼していました。入園後は、数回ほど保育園まで送っていただきました。

③ファミサポ利用してみたの感想

センターから紹介していただいた提供会員さんは、とても感じの良い方で、夫婦ともに安心してサポートをスタートさせることができました。サポートの依頼時以外にもお裾分けをいただいたり、お宅に寄らせていただいたりと、継続的に顔を合わせる機会があったため、子供もすっかり慣れて、今では我が物顔で提供会員さんのお宅に上がって行く程です(笑)

④ファミサポ利用を考えている方にひとこと

夫婦間でも育児に対しての考え方などの擦り合わせをしてきたように、提供会員さんとも擦り合わせをしていく必要があると思います。私も当初は、人をお願いするという事に、なんとなくためらいがありました。提供会員さんが子供の成長を喜ぶ声をかけてくださった時に、お願いすることはむしろ良いことなのでは？と感じました。『子育てを夫婦だけで頑張らなくては』という思い込みが、自分自身の負担を大きくしていたのだと思っています。

家族以外に、子供の成長を一緒に見守ってくれている、喜んでくれている人がいるということは、非常に心強いです。ファミリーサポートセンターの利用が、選択肢の一つとしてあっても良いのではないかな？と思います。

(依頼会員Mさん。会員登録歴約3年半。子どもが生後2ヶ月の時から利用)

センターからのお知らせ

平成30年度 第2回 ステップアップ研修会

乳児・幼児・児童の ための救命救急法

人気の高い「救命救急法」。平成29年第2回提供会員養成講習会にご参加のみなさまは救急法が必修となりましたので、ぜひ今回の研修会にご参加ください。対象の方にはご案内します。以前受講した方もAEDの使用法や救急法を忘れないために、再度参加することをお勧めいたします。

今回、急性アレルギー反応を和らげるエピペンの使い方も救急法に加えて教えていただきます。

- 日 時 平成30年9月27日(木) 9:00～12:00
- 場 所 八戸市総合福祉会館 (はちふくプラザねじょう) 2階 多目的ホール
- 講 師 八戸消防署 根城分遣所
- 対 象 ファミサポ提供会員と両方会員のみ
- 参加費 無 料
- 定 員 30名程度
- 締 切 平成30年9月12日(水)
※定員に達し次第締め切り
※修了証をお渡しする都合上、締め切り厳守

平成30年度 第3回 ステップアップ研修会

子育て 「今・昔」ものがたり

時代の変化と共に、子育ての考え方、あり方は変わっています。医学や科学の研究が進んだり、育児に便利なものが作り出されたりしています。

現代の子育ての常識や、昔と今の違いなどについて学んで、実際のサポート活動に伴う『小さな戸惑い』を解消する時間を狙いたいと思います。

- 日 時 平成30年10月23日(火) 10:00～12:00
- 場 所 八戸市総合福祉会館 (はちふくプラザねじょう) 5階 研修室
- 講 師 八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科 准教授 加藤 康子 氏
- 対 象 ファミサポ提供会員と両方会員のみ
- 参加費 無 料
- 定 員 50名程度
- 締 切 平成30年10月16日(火)
※定員に達し次第締め切り

いずれも提供会員と両方会員のみが対象 ★同封したチラシを併せてご覧ください★

先日、とある研修に出席した際、アイスブレイクを兼ねたワークをやりました。それは、お隣さんと向き合い、互いに人差し指で割り箸を押し合い落とさないようにしつつ、その下を一人ずつぐり一回転するというものでした。互いの押し合う力が均等じゃないと、割り箸は落ちてしまうので、体のあらゆるところに神経をはりつめ、集中力と緊張感を保ちながらゆっくり、ゆっくり一回転。その後、講師の方から「目を閉じてやってみましょう」と言われチャレンジしたものの、想像以上に難しく、割り箸を何回も落とす始末でした。

講師の方によれば、これは「人と関わる時のコツを肌で感じるワーク」だそうで、他者と関わる際には、互いに相手の様子を感じ取り、双方の呼吸を合わせることが大事ということを感じました。また、目を閉じたときにうまくいかなかったように、アイコンタクトや言葉でのコミュニケーションも欠かせないことも再認識。ぜひ、皆さんもチャレンジしてみてください。(上野)

■提供・両方会員の皆様へ

ステップアップ研修会に参加してください

ステップアップ研修会に5年以上参加していない方がたくさんいらっしゃいます。人と人を紹介する事業上、ずっとお顔を見せていただけない方には、サポート活動をつなげるのが難しくなってしまいます。

何卒、年に一度の研修会への参加をお願いいたします。

編集発行 八戸市ファミリーサポートセンター

〒039-1166 八戸市根城八丁目8-155
社会福祉法人 八戸市社会福祉協議会
TEL 0178-71-2750
FAX・留守電 0178-71-2751

【e-mail】 f_support@hachinohe-shakyo.or.jp
受付時間 電話 … 月曜日～金曜日 8:30～17:00
メール・FAX・留守電 … 24時間
土・日・祝日・年末年始はお休みです